

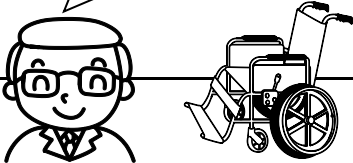
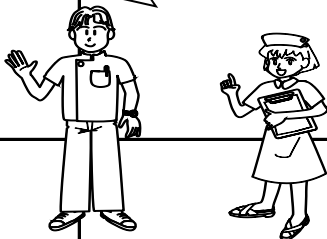
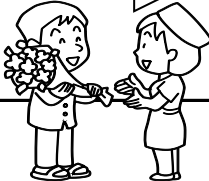
大腿骨頸部骨折の手術を受けられる方へ

患者番号：
患者氏名：様

日付	入院日～手術前日	手術当日（ / ）	1日目（ / ）
目標	手術の予定や注意事項が理解できる	（手術前）予定通り入室できる （手術後）術後の安静がとれる。痛みが軽減する	ガーゼ汚染がない 痛みが軽減する
内服	・薬を服用している方はお申し出下さい ・入院後の内服については、医師に確認後、説明します	・内服は医師の指示で服用します。	・必要に応じて痛み止めの内服が開始されます。
注射		・手術が午後の場合は午前中に500mlの点滴を1本します。 ・手術後は翌朝まで点滴をします。 ・痛いときは注射や坐薬を使用します。	・抗生剤の点滴があります。
検査	・採血、レントゲンなどを行う場合があります。		・早朝に採血があります。
処置	・弾性ストッキングをはきます。（血栓予防）	・手術後～翌朝まで酸素吸入をしています。 ・手術後～翌朝まで心電図モニターをつけます。 ・手術後は時間毎に血圧などを測ります。	・ガーゼ交換（基本的には手術後2日目から）
食事	・手術当日（ ）時からは何も食べないで下さい。 （ ）時以後は飲み物も飲まないで下さい。	・何も食べたりのんだりできません。 ・歯磨き、うがいはできます。 	・1日のみ粥食です。
安静	・ベッド上安静です。 	・手術前に弾性ストッキング（血栓予防）をはきます。 ・手術後にフットポンプを装着します。 ・手術後は翌朝までベッド上安静です。 ・自分で体の向きをかえることができます。心配な方は看護がお手伝いいたします。 	・ベッド上でリハビリがはじまります。 私たちがお手伝いします。 ※上半身を少しずつ起こして90度まで起きることができます。 ※体の向きを変えます。 ※身体を拭きます。
排泄	・前日、排便がない場合は、浣腸をする場合があります。 ・下痢・便秘が心配な方は、早めにお申し出下さい	・手術後は尿量をチェックするために管が入っています。 ・便は便器又はオムツで、寝たままします。	（便が出にくいときはお申し出下さい）
清潔	・手術前日に看護師が体を拭きます。 ・髭剃りをします。		・午前中に体を拭きます。
説明その他	・主治医より本人、家族に症状・手術の説明があります。 ・看護師から入院、手術の説明があります。 ・手術に必要な準備物を説明します。 ・全身麻酔の場合は、麻酔医の診察を受けます。 ・手術室より看護師が訪問に伺うこともあります。 	・手術後はお部屋へ戻ります。 ・手術後ご家族の方に主治医より手術の結果の説明があります。 《手術の際に準備する物》 * バスタオル 1枚 * 前開きのシャツ 必要に応じて * T字帯かオムツ 1枚ほど * 尿とりパット 2枚ほど 	・痛みに応じて足関節の運動や膝の屈伸運動を始めましょう。 ・苦痛症状や眠れないときは早めにお知らせください。 * 詳しくは看護師にお聞きください。

大腿骨頸部骨折の手術を受けられる方へ

患者番号：
患者氏名：様

日付	2日目(/)	3日目(/)	4日目(/)	5日目(/)	6～13日目	14日目
目標	痛みが軽減する 痺れがない 介助のもとで車椅子に乗れる	リハビリ室まで出療できる	トイレで排泄できる	歩行器で歩行できる	自立歩行以外の日常生活動作ができるようになる	予定通り転院できる
内服						
注射						
検査						
処置	・ガーゼ交換				・手術後7～8日目に 抜糸します。	
食事						
安静	・リハビリの時に車椅子に乗ります。 車椅子に乗る時期は人によって異なります。 めまいや気分が悪い 	・手術後3～4日頃に看護師の介助のもとで車椅子に乗れます。 ・最初は看護師が付き添います。	徐々に行動範囲を広げましょう。			
排泄		・移動が慣れれば車椅子でトイレに行きます。				
清潔		 初めてのシャワーは看護師が一部		地域連携にもとづいて手術後2週間にて転院できるよう手配いたします。 	退院おめでとうございます 	
説明						

※これはあくまでも予定です。場合によっては予定通りにいかないこともありますので、ご了承ください。